

7 芸術

科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位	学年	第3学年	科	普通科
						コース	一般教養
使用教科書	東京書籍「書道Ⅱ」			副教材		「高校硬筆の練習」	

学習の到達目標

書道Ⅰの時より学ぶ範囲が広がる。各書体による運筆の強弱・緩急や字形・布置などをよく考えて作品を仕上げる学習をする。書写能力を育て、創造的な書の表現力と鑑賞力を伸ばす。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期 の	4	漢字仮名交じりの書①	漢字の古典を生かした表現 作品を通じ、書いた人物の人間性や、個性、時代や風土を学ぶ。 書における美、芸術観点を学ぶ。 ・蘭亭序に基づく表現 ・牛欄造像記に基づく表現 ・争坐位文稿に基づく表現
	5	漢字の書	仮名の古典を生かした表現 仮名の名筆をもとにして、仮名と漢字の調和について学ぶ。 ・粘葉本和漢朗詠集と関戸本古今和歌集に基づく表現
	6		(楷書)楷書の古典を臨書させ、鑑賞させる。また、楷書の代表的な表現の特徴を理解し、さらに時代背景を学ぶ。 ・薦季直表 ・爨宝子碑 ・張猛龍碑・賢愚経
	7		(行書)行書の古典を臨書させ、鑑賞させる。また、行書の代表的な表現の特徴を理解し、さらに時代背景を学ぶ。 ・集王聖教序
二 学 期	9	漢字の書	・温泉銘 ・灌頂記 ・苕溪詩卷 (草書)草書の古典を臨書させ、鑑賞させる。また、草書の代表的な表現の特徴を理解し、時代背景を学ぶ。 ・十七帖 ・自叙帖 ・離洛帖
	10	仮名の書	(隸書)隸書の古典を臨書させ、鑑賞させる。また、隸書の代表的な表現の特徴を理解し、さらに時代背景を学ぶ。 ・礼器碑 ・開通褒斜道刻石 ・敦煌漢簡
	11		(篆書)篆書の古典を臨書させ、鑑賞させる。また、篆書の代表的な表現の特徴を理解し、さらに時代背景を学ぶ。 ・石鼓文 ・小臣觶犧尊 ・甲骨文
	12		創作の手順に従い、古典の特徴や技法を生かして、創作する。 仮名の美の展開 ・関戸本古今和歌集 ・十五番歌合 ・本願寺本三十六人家集 連綿の学習・変体仮名の学習
三 学 期	1	漢字仮名交じりの書②	仮名一覧表 平安時代の仮名の書道史的意義と仮名学習に不可欠な連綿と変体仮名について理解させ、練習させる。
	2		行書き ・曼殊院本古今和歌集 散らし書き ・重之集
	3		名筆・古典の学ぶ漢字と仮名の調和 名筆や、古典をもとにして、漢字と仮名を調和させる。 仮名に学ぶ漢字と仮名の調和 隸書に学ぶ漢字と仮名の調和 漢字仮名交じりの書で学んだ技法を生かして、創作する。

学習評価

評価は具体的に次のものを対象にする。

- ・各時間、提出を指示した「作品」
- ・学習への参加状況（出席状況・学習態度等）